学科 学年	３ＭＥ Ｄ	科目 分類	歴史 History	講義 必修	通年 ２単位	学習教育目標 1	担当	鈴木　静恵 SUZUKI Shizue

概　要	ルネサンスと大航海時代に始まる近代ヨーロッパの歩みのなかで主権国家体制が成立するとともに世界の一体化が開始されたこと、さらに市民革命と産業革命を経た欧米国民国家の主導下に全世界が国際的分業体制に組み込まれてゆき、その過程の中から現代の世界が形成されてきたことを学ぶ。
科目目標 (到達目標)	近現代史の学びを通して、今日の世界の様々な課題についての理解を深める
教科書 器材等	山川出版社：改訂版　高校世界史　　帝国書院：最新世界史図説タペストリー
評価の基準と方法	定期試験成績70%、平常授業での積極的な学習姿勢（発表、課題提出等を含む）30%として評価する。
関連科目	地理

授業計画

	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)
第 1回		ガイダンス
第 2回		ルネサンスと宗教改革
第 3回		大航海時代とヨーロッパ諸国の海外進出
第 4回		主権国家体制の成立
第 5回		イギリス革命と産業革命
第 6回		アメリカの独立
第 7回		フランス革命とナポレオン
第 8回	×	前期中間試験
第 9回		ウィーン体制の成立と崩壊　イギリスの繁栄
第10回		イタリアとドイツの統一　動揺つづくフランス
第11回		ロシア帝国とアメリカ合衆国
第12回		資本主義社会の確立と社会主義思想
第13回		西力東漸下のアジア
第14回		明治維新と岩倉使節団
第15回	×	前期末試験
第16回		帝国主義の時代
第17回		第一次世界大戦
第18回		ロシア革命とソヴィエト連邦
第19回		ヴェルサイユ体制
第20回		世界恐慌とファシズムの台頭
第21回		日本の東アジア侵略
第22回		第二次世界大戦
第23回	×	後期中間試験
第24回		戦後日本の変革
第25回		ヤルタ体制と冷戦の開始
第26回		中華人民共和国の歩み
第27回		アジア・アフリカの自立と混乱
第28回		冷戦の終結と新たな紛争
第29回		ナショナリズム克服への挑戦―ＥＵの歴史から―
第30回	×	後期末試験

オフィスアワー	質問等には授業日の放課後等に対応できる。
授業アンケートへの対応	授業計画にそった進度に極力留意。適切な質疑応答で授業に緊張感をもたせる。分かりやすい坂書。
備　考	適宜ビデオ教材等を利用。
更新履歴	20100326 新規